

(健Ⅱ64)

平成30年6月15日

都道府県医師会、郡市区医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
釜 范 敏

国立国際医療研究センター病院AMR臨床リファレンスセンター作成
薬剤耐性（AMR）対策啓発資材の周知と活用について

今般、国民、医療機関に対するAMR対策啓発資材の周知・活用ならびに日本医師会名を記載したポスターの配布について、国立国際医療研究センター病院AMR臨床リファレンスセンターより本会に対して別添の協力方依頼がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、関係医療機関等に対する資材活用の周知方ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

平成30年5月1日

公益社団法人 日本医師会
会長 横倉 義武 様

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
AMR 臨床リファレンスセンター
センター長 大曲貴夫



薬剤耐性（AMR）対策啓発資材の周知と活用について（協力依頼）

謹啓 青葉の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 AMR 臨床リファレンスセンターの運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。厚生労働省委託事業により、当センターでは国民、医療機関に対する薬剤耐性（AMR）対策啓発のため、さまざまな活動を行っております。このたび、啓発資材としてポスター（3種類）とリーフレット（3種類）を作成いたしました。

つきましては、資材の周知や活用について貴会のご協力を以下のようにいただきたく、本事業の趣旨を御理解の上、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 都道府県医師会、郡市区医師会、貴会会員等に対する資材の周知
2. ポスターのうち1種類について、日本医師会名を記載し、都道府県医師会、郡市区医師会への配布

以上

問い合わせ先

AMR 臨床リファレンスセンター

（担当：情報・教育支援室長 具 芳明）

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1 国立国際医療研究センター内

Tel: 03-6228-0062 Fax: 03-6228-0420

e-mail: yogu@hosp.ncgm.go.jp

AMR対策啓発ツールのご案内

啓発ツールは「AMR情報サイト」からダウンロードしてお使いください

かしこく治して、明日につなぐ
～抗菌薬を上手に使ってAMR対策～

<http://amr.ncgm.go.jp/materials/>



リーフレット

① わたしたちができること

A5サイズ カラー4ページ 二つ折り
2018年3月作成

- 一般の方に薬剤耐性の問題、すぐできる感染予防について説明するとき
- 薬局、学校、保健所、医療機関での説明に使えます。



小冊子

③ どんな時に心配したらいいの？

【英国カーディフ大学
2016年10月改訂版 日本語訳】
A5サイズ カラー8ページ 冊子

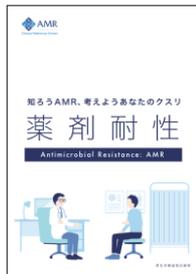
- 生後6カ月以上の子どもの親へ説明するとき
- 子どもの具合が悪いときに、親が気をつけるポイントを説明



② 薬剤耐性

A5サイズ カラー8ページ 観音折り
2018年3月作成

- 医療機関を受診した人へ、医療従事者や薬局から説明するとき
- 薬剤耐性問題、抗菌薬の適正使用についてインフォグラフィックを用いて説明



④ 抗微生物薬適正使用の手引き 第一版 ダイジェスト版

【2017年9月発行】
パイプルサイズ カラー8ページ 冊子

発行：厚生労働省
健康局 結核感染症課



ポスター「知ろう まもろう 抗菌薬」

薬剤耐性菌の問題と対策を説明しています
A2サイズ 1シリーズ3種 1枚ずつでも利用できます

⑤ 抗菌薬の適正使用

- ほとんどのかぜには抗菌薬は不要であること
- 抗菌薬の正しい飲み方について説明しています



⑥ 薬剤耐性菌とは？

- 細菌とウイルスの違い
- 薬剤耐性菌の問題について説明しています



⑦ すぐできる予防

- 手洗い方法
- 咳エチケット
- ワクチンについて説明しています



お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院

AMR臨床リファレンスセンター

Tel 03-6228-0062

E-mail amr@hosp.ncgm.go.jp <http://amrcrc.ncgm.go.jp>



厚生労働省委託事業

知ろう まもろう 抗菌薬

「かぜをひいたら**抗菌薬**」
というわけでは**ありません**

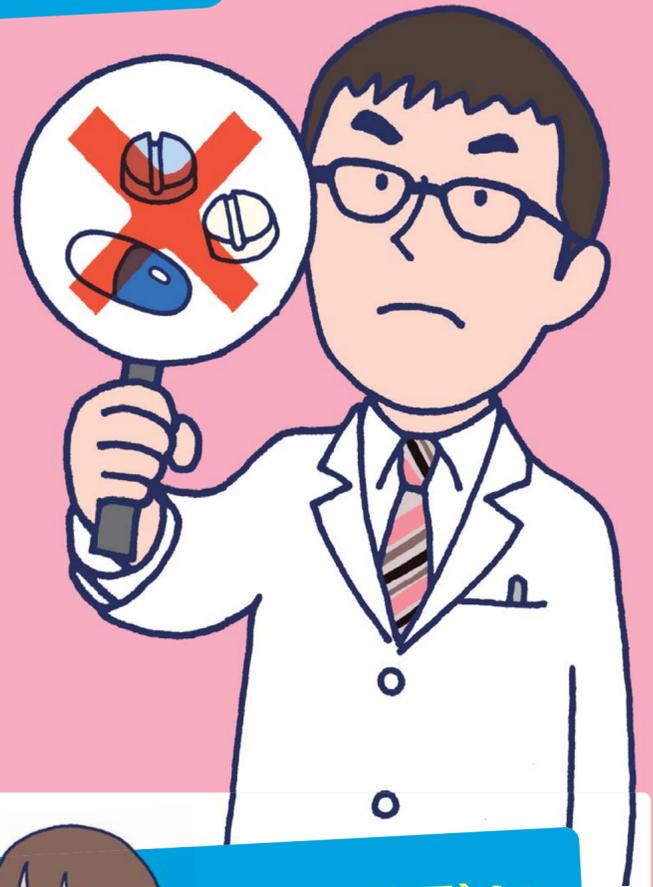
「かぜをひいたらお医者さんに行って
抗菌薬をもらおう」

そんなふうに思っていないですか？

抗菌薬は細菌に効く薬です。

ほとんどの「かぜ」の原因である

ウイルスやインフルエンザには効きません。



抗菌薬を使うかどうかの判断は、
診断を受けた医師の指示に
従ってください。

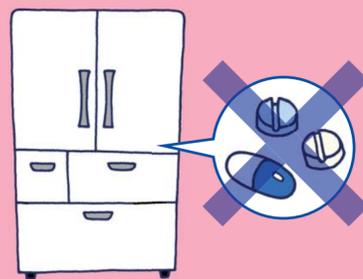


かぜ(感冒)に
抗菌薬は
いりません!

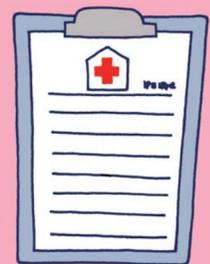
抗菌薬を
正しく理解して、
正しく飲むことが
大切です。



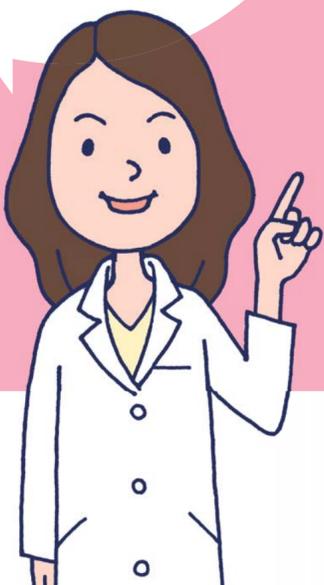
抗菌薬は医師の指示通り
飲み切りましょう



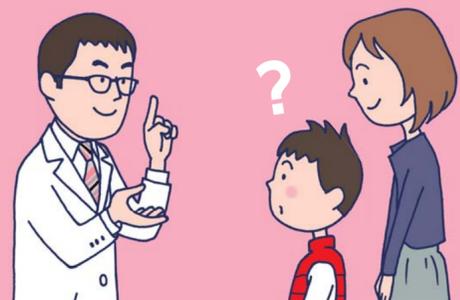
抗菌薬を
とっておかない



抗菌薬をもらうには
医師の処方箋が必要です



抗菌薬をあげたり、もらったりしない



わからないことは、かかりつけ医に聞きましょう

